公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

2017年3月発行

米山学友の群像 vol.5

Yoneyama Alumni in the World

C O N T E N T S

1.ロータリー米山記念奨学事業とは……2

2.世界で活躍する米山学友……5
●YONEYAMA NEWS……18

3.米山学友会の活動……26
●国内学友会……26
●海外学友会……28

4.世話クラブ・カウンセラー制度があればこそ……31

5.データで見る米山学友……32

ホームカミング制度のご案内

ロータリー米山記念奨学会では、2008年度より「ホームカミング制度」を設けて、米山学友の里帰り訪問を推進しています。

「ホームカミング制度」を利用して、活躍する元米山奨学生を各ロータリー地区で毎年2人まで招待できます。地区大会などで現在の活躍を披露していただくことで、「寄付の成果が実感できる」と大変好評です。もちろん学友にとっても、日本との絆、ロータリーとの絆を深めるまたとない機会となっています。

対象は、海外・国内在住いずれもOK! 他地区出身の学友も招待できます。費用は、米山記念奨学会から補助されます（上限あり）。

「ホームカミング制度」の詳細については、米山記念奨学会ホームページをご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

1 ロータリー米山記念奨学事業とは

民間最大の国際奨学事業です

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリークラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967年に財団法人として設立の許可を受け、2012年に公益財団法人に移行しました。これまでに世界124の国・地域出身の19,197人（2016年7月現在）におよぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、民間で最大の国際奨学団体となっています。

【奨学金の種類と採用人数（2016学年度）】

ロータリー米山奨学金一覧	月　額		募集システム	人 数
1. 学部課程（YU）	10万円	指定校推薦	大学・大学院対象の代表的なプログラム	714人
2. 修士課程（YM）	14万円			
3. 博士課程（YD）	14万円			
4. 地区奨励	7万円		短大・高専など。1人枠で2人採用可	15人
5. クラブ支援（CY）	14万円	現役奨学生の期間延長制度（世話クラブ推薦・半額負担）		6人
6. 海外応募者対象	10万円 14万円	来日前の日本留学希望者が応募できる新制度。公募制。		11人
7. 海外学友会推薦	14万円	海外の学友会が募集・選考する研究者助成。公募制。		4人

上記は、2016学年度（4月1日～翌3月31日）の採用数です。

世界の平和を願って始まった奨学事業

ロータリー米山記念奨学事業の歴史は、50年以上前にさかのぼります。

敗戦後の復興が続く1952年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して３年後、米山梅吉氏がそれを見ずして、奉仕に捧げた生涯を終えてから6年後のことです。米山梅吉氏が生前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。そして、2年にわたる募金活動の後、1954年にタイから第1号奨学生となるソムチャード氏を招聘したのです。氏は、東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局、タイシルクの増産に貢献しました。

米山記念奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「世界の懸け橋」となることを願ってつくられたのです。

米山基金による第1号奨学生ソムチャード氏（1954年）

奨学生懇親会（1958年）

「世話クラブ・カウンセラー制度」による留学生の心のケアを重視しています

ロータリー米山奨学金制度の最大の特徴は、経済的な支援だけでなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて、奨学生の精神面のケアを図っていることです。

親善・交流を通じた国際理解を推進する米山奨学事業の要であり、ロータリークラブという地域密着の組織だからこそできる重要な特性といえるでしょう。

奨学生には、地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれます。さらに世話クラブの会員の中から、専任のカウンセラーが１人付いて、奨学生の日常の相談に乗ったり、文化体験の案内役や交流の橋渡しに努めたりして、奨学生の日本での生活が心豊かなものになるように配慮しています。大学の指導教員と連絡を取り合ったり、自宅に奨学生を招いて家族ぐるみで交流する例も多くあります。

奨学生には毎月１回以上、世話クラブの例会に参加することが義務づけられており、奨学金もそこで手渡されます。そのほかにも、奨学生には、クラブの例会で母国のことや自分の研究について卓話（スピーチ）したり、クラブ・地区の社会奉仕活動、交流会や研修旅行に参加するなど、ロータリーの活動を通じて、日本文化や地域社会と触れ合うさまざまな機会が提供されます。

「世話クラブ・カウンセラー制度」は、国費や他の奨学金制度には無い魅力として、奨学生はもとより、他団体や大学、行政機関などからも注目されています。

米山カウンセラーとの交流

ロータリーの地区やクラブの行事に参加

奨学生によるスピーチ

米山梅吉さんって、どんな人？

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。15歳（満年齢 以下同じ）の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡航し、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）、ウエスレアン大学（オハイオ州）、シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy）の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて緑岡小学校（現在の青山学院初等部）を創立しました。

“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。“他人への思いやりと助け合い”の精神を身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。

もっと知りたい人は「米山梅吉記念館」へ！

『公益財団法人 米山梅吉記念館』は、日本におけるロータリーの祖である米山梅吉氏の生い立ちや人となり、功績を伝える資料館です。（当会とは別法人となります）

所在地：〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
開館時間：午前10時～午後4時（月曜休館）
ホームページ：http://yoneyama-umekichi.jp/

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人３人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年２月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,263、会員総数1,227,217人（2016年11月30日国際ロータリー公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

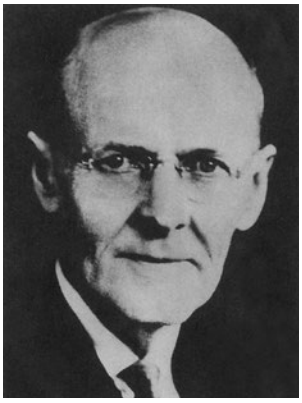
わが国最初のロータリークラブは、1920（大正９）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年４月１日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

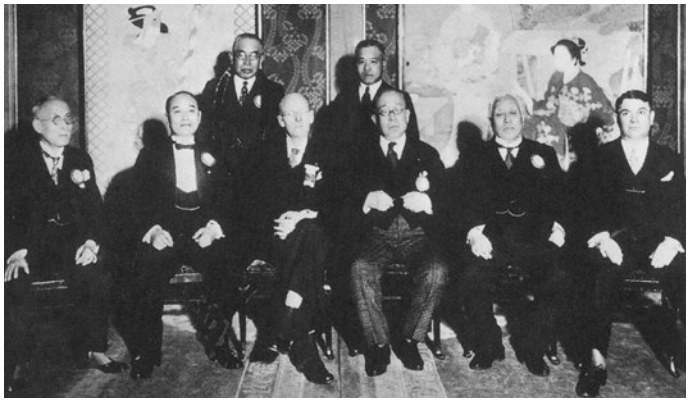
その後、日本のロータリーは、第２次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年３月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第３代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,263、会員数89,025人（2016年12月末現在）となっています。

出典：『ロータリーの友』（※）2017年3月号より
※『ロータリーの友』は、日本のロータリー会員向けに毎月発行されているロータリー地域雑誌です。



ロータリーの創始者ポール・ハリス（1868-1947）



1935年、来日したポール・ハリス（前列左から3番目）を囲む米山梅吉（左隣）ら日本のロータリアン

日本のロータリーの父 米山梅吉（1868-1946）

2 世界で活躍する米山学友

ロータリー米山記念奨学会では、これまでに1万8千人もの優秀な学友を世に送り出してきました。ロータリー精神に触れ、心を育んだ米山学友は、いま母国で、日本で、世界で活躍しています。

そのすべてをご紹介することはできませんが、ここでは、各国・地域出身の代表的な学友の活躍をご紹介します。

Attention!

各学友の氏名の下に記載されているのは、
奨学年度／奨学期間中の所属教育機関／世話クラブ　です。
国名は、出身の国・地域を指しています。

米山記念奨学会ホームページから、
当会の事業紹介ビデオや、
学友紹介ビデオがご覧いただけます。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/video
もしくは、「トップページ」
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/ から
「米山奨学会紹介ビデオ」をクリックしてください。

世界で活躍する米山学友

台湾

Taiwan

阮 允恭（ゲン イン キョウ）さん

瑞鋼貿易株式会社 社長

（1971-74／神戸大学大学院／神戸RC）

日本でマーケティングを修め、帰国後は圧力計などの輸入販売事業に邁進。台湾米山学友会の活動に創設当初から携わり、30年以上もの間、台湾学友会の発展を支えてきた。

徐 重仁（ジョ ジュウニン）さん

（財）商業発展研究院 会長

（1976-77／早稲田大学大学院／平塚RC）

台湾最大の流通・小売企業「統一超商」の社長として34年にわたり事業を牽引した「台湾流通業の父」。2012年より現職。2010 年「国家傑出経営者賞」最優秀賞受賞。台北東海RC創立会長。

賴 明珠（ライ ミンチュ）さん

翻訳家

（1977-78／千葉大学大学院／松戸RC）

中国語圏を代表する村上春樹作品の翻訳家。今や海外でもファンの多い村上春樹氏の作品を、世界で最初に翻訳し、台湾に紹介した。以来、台湾で翻訳された村上作品のほとんどを手掛けている。

林 曼麗（リン マンレイ）さん

元国立故宮博物院 院長 国立台北教育大学 芸術学系 教授

（1981-83・1996／東京大学大学院・東京芸術大学大学院／東京保谷RC）

2006年1月、女性として初めて、国立故宮博物院の院長に就任。斬新な改革を行い、世界的な注目を集めた。現在は、大学での教育にあたるほか、大学付属美術館の活動や講演を行っている。

林 華明（リン カミン）さん

投資顧問・台湾株式投資協会 理事

（1984-86／慶應義塾大学大学院／東京世田谷RC）

投資顧問として複数企業で役員を兼任。日本のベンチャーキャピタル数社と業務締結。台北市東門RC創立会員で、世界４番目の規模（当時）を誇る第3520地区の2015-16年度ガバナーを務めた。

蘇 定東（スウ ディンドン）さん

台湾外交部 秘書課 翻訳グループ 上級通訳官

（1986-87／筑波大学大学院／下館RC）

台湾の外務省にあたる外交部でおよそ20年にわたり、政府要人の日本語通訳を務める。李登輝元総統から蔡英文総統まで、歴代4代の台湾総統が日本の要人と会談する際の通訳を務めている。

呉 憲璋（ウー シェンツァン）さん

元台湾法務部 矯正局長　法務部顧問・国立交通大学兼任講師

（1986-87／明治大学大学院／東京原宿RC）

日本で芸術活動を取り入れた矯正教育等を学び、帰国後、“奇跡”と呼ばれる刑務所改革を行った。その後も矯正施設の環境改善に尽力し、台湾矯正局の局長に就任。2016年より台湾学友会の第7代理事長を務める。

崔 相龍（チェ サンヨン） さん

元駐日韓国大使　高麗大学 政治外交科 名誉教授

（1969-1972／東京大学大学院／東京日本橋RC・東京城西RC）

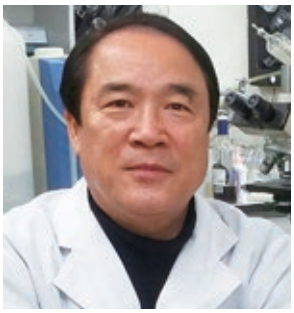
「日韓共同宣言」（1998年）の諮問委員を務め、当時の大統領と内閣を説得して、日本文化の開放を進めるなど、両国の関係改善に大きく貢献した。2000-02年、第14代駐日大韓民国特命全権大使を務めた。

全 炳台（ジョン ピョンテ） さん

建国大学食品生命科学学科 名誉教授 鹿茸研究センター所長

（1980-83・1991／東北大学大学院／仙台北RC）

韓国における養鹿産業や機能性食品の開発に関する研究に従事。2014年度より第5代韓国米山学友会会長として、学友会の活性化に尽力している。第3650地区セソウルRC 2012-13年度会長。



權 哲賢（クォン チョルヒョン） さん

元駐日韓国大使　セヌリ党常任理事

（1984-87／筑波大学大学院／佐野東RC）

帰国後、東亜大学教授などを務め、釜山市で3回連続、国会議員に当選。2008年、第18代駐日大韓民国特命全権大使に着任し、3年におよぶ在任中、さまざまな分野における日韓交流を促進した。

朴 裕河（パク ユハ） さん

世宗大学 日本文学科 教授

（1987-88／早稲田大学大学院／浦和北RC）

日韓の歴史和解を目指し、数々の著書を両国で出版。2013年刊『帝国の慰安婦―植民地支配と記憶の闘い』は、韓国国内で大きな物議を醸し訴訟になるなど、自身の信念をかけて闘っている。

金 玄勲（キム ヒョンフン） さん

社会福祉法人 幸福創造 理事長

（1996-97／日本社会事業大学大学院／大宮南西RC）

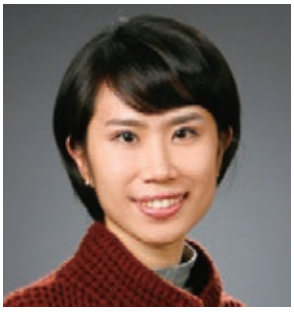
日本で社会福祉を学び、帰国後、2006年に社会福祉法人「幸福創造」を設立。ソウル市恩平区で、高齢者福祉施設や保育所など、さまざまな福祉施設を運営し、地域の社会福祉を担っている。

黄 セミ（ファン） さん

日本語/韓国語 同時通訳者

（2001-02／国際基督教大学大学院／東京南RC）

美しい日本語と正確な翻訳技術に定評のあるプロ通訳者。国際シンポジウムやビジネス会議、平昌五輪、東京五輪委員会などの協議、韓国の総合家電メーカーや地方裁判所の通訳者として活躍。



李 秉雨（イ ピョンウ） さん

国立環境科学院(NIER) リスク評価研究科 研究員

（2012-14／産業医科大学大学院／八幡西RC）

2016年に帰国し、韓国環境部傘下の国立環境科学院に勤務。洗剤や芳香剤などに含まれる化学物質の毒性を検討してリスク評価し、より安全な生活用品を使用するための検討・研究に尽力している。

世界で活躍する米山学友

柯 隆（カ リュウ）さん

広島経済大学経済学部特別客員教授 静岡県立大学グローバル地域センター特任教授

（1992-94／名古屋大学大学院／名古屋大須RC）

中国マクロ経済研究の第一人者として知られ、各メディアでの活躍のほか、経団連や経済同友会の会合での講演も多い。財務省関税・外国為替等審議会委員などを歴任。著書・論文多数。

姫 軍（キ グン）さん

弁護士（世澤律師事務所パートナー）

（1995-97／東京大学大学院／東京臨海RC）

2004年に創業パートナーとして北京に世澤律師事務所を創立。上海・広州・東京にも拠点を拡大し活躍中。反日デモが多発した中国で、日本企業と駐在日本人のためのホットラインを開設した。

李 威（リ イ）さん

全馨国際貿易（上海）株式会社 社長

（2001-02／大阪大学大学院／大阪淀川RC）

長年、上海の旅行社に勤務し、中国政府関係者や大手貿易会社の訪日視察旅行の旅行手配を担当。現在は、日系貿易会社の中国市場統括の総経理を務め、コナ珈琲の貿易をメインに行っている。

楊 敢峰（ヨウ カンホウ）さん

楊派武館 館長 蘇州大学体育学部講師

（2004-05／筑波大学大学院／水戸南RC）

全国に約500人の門下生をもつ中国有数の総合武館を率いる。2015年世界剣道選手権大会に中国代表として出場。試合中アキレス腱を断裂しながらも勝利し、中国初の男子団体ベスト8に貢献。

呉 盈盈（ゴ エイエイ）さん

オークランド観光イベント経済開発局 トレードマーケティングコーディネーター

（2006-07／北海道大学大学院／札幌東RC）

ニュージーランド・オークランド市政府組織の観光イベント経済開発局で、トレードマーケティングのアジア担当を務める。ソウル国際大会参加を機に、第9920地区St. Johns Inc.RCに入会。

米熱古麗 買買提（ミレグリ マイマイティ）さん

新疆医科大学教授 同大第一付属病院小児科主任

（2008-10／旭川医科大学大学院／旭川南RC）

小児糖尿病など小児内分泌・遺伝子疾患専門。新疆医大で小児内分泌科を開設し、大都市でしか診療できなかった患者を治療できる環境を整備し、新疆ウイグル自治区の小児医療発展に尽力。

李 海（リ カイ）さん

香港衛星テレビ東京支局長

（2010-12／名古屋大学大学院／名古屋栄RC）

香港衛星テレビ特派員として、香港・台湾、中国に日本のニュースを紹介。日本の報道番組や討論番組に出演したり、新聞・雑誌や中国向けポータルサイトなどに寄稿して情報発信している。

シュティカーン テプサン さん

JQA ASIA (Thailand)Co.,Ltd. 審査部長

（1993-95／近畿大学／新大阪RC）

日本トップのISO審査機関JQA（日本品質保証機構）のタイ国拠点で、主に日系企業のISO認証の審査を務める。2016年3月よりタイ米山学友会の第3代会長に就任し、親睦・奉仕活動に尽力。

ナレス ペチニン さん

Naval Command and Staff College 教育部 部長

（1994-96／武蔵工業大学（現・東京都市大学）大学院／越谷RC）

タイ王国 海軍士官学校教育部准教授を経て、現在、Naval Command and Staff Collegeの教育部統括の重責を担う。海軍大佐。2012年3月創立のタイ米山学友会では、創立副会長を務めた。

ブサコーン タンサガーサクツィー さん

Panasonic Siew Sales Co.,Ltd. 代表取締役社長秘書 部長

（1997-98／島根大学／出雲中央RC）

タイパナソニック販売会社の社長秘書として、通訳や日本人出向者の対応にあたり、社会貢献活動にも尽力。タイ工業省と島根県との覚書締結式で通訳を担当し、第二の故郷に恩返しした。

コンキット ヴォラプッタポーン さん

芝浦工業大学 特命准教授

（1998-2000／芝浦工業大学大学院／東京京浜RC）

2015年から母校の特命准教授として、gPBL(Global Project Based Learning)に参加する芝浦工業大学と東南アジアからの理工系学生を指導。タイにて企業研修、通訳、コンサルタント業務にも従事。

インタラチット ヌンヌット さん

Nissan Motor Thailand アシスタントジェネラルマネージャー

（2006-07／神奈川大学／横浜鶴見北RC）

卒業後、日産自動車（株）に入社。現在、Nissan Motor Thailandに勤務し、政府・法人向けフリートセールスを担当。タイ米山学友会設立にもアドバイザーとして貢献し、帰国後は同学友会の幹事を務めた。

ワシン テイシャシャイニラン さん

Mahaseth Travel Co.,Ltd. 代表取締役

（2011-12／学習院大学大学院／東京清瀬RC）

帰国後起業して、旅行代理店を経営。タイからの訪日旅行や企業見学などの企画販売、各種旅行手配や添乗員サービス、タイ語・日本語の商談通訳を提供。2016年4月よりタイ米山学友会幹事。

パッドチャラポン カロムカン さん

カセサート大学獣医学部 講師・同付属病院 獣医

（2011-12／日本獣医生命科学大学大学院／東京武蔵村山RC）

帰国後、国立カセサート大学獣医学部で教鞭をとり、後進の指導にあたるとともに、週末は付属病院で獣医として診療活動にも従事。2016年4月からタイ米山学友会の会計担当理事に就任。

ネパール

Nepal

ディネス シュレスタ さん

ネパール商工会議所 名誉代表
NEPA（ネパール避難所・防災教育支援の会）副代表理事

（1991-92／大阪工業大学／宝塚武庫川RC）

大阪市内で建築設計業などを営む。ネパール商工会議所で長年、母国との企業交流促進に貢献。また、2015年ネパール大地震を機にNPO団体NEPA（申請中）を設立し、避難所建設や防災教育の普及に尽力。

スレス ダス シュレスタ さん

トリブバン大学 水文地質学 教授

（1994-96／大阪市立大学大学院／大阪阪南RC）

水不足に悩むネパールにおける雨水採取研究の第一人者として、政府の有識者グループに加わるなど活躍。2013年創立時からネパール米山学友会会長を務める。2015-16年度カトマンズRC会長。

ギリ ラム さん

三井物産戦略研究所 研究員

（1998-2000／室蘭工業大学大学院／室蘭RC）

在学中から教育基金を設立して、母国の子どもたちを奨学支援している。東京米山友愛RC創立会員。東日本大震災やネパール大地震などの震災被災地に赴き、炊き出し等の支援活動を行う。

ラム チャンドラ ブサル さん

JICA研修生同窓会(JAAN) 会長　農業専門家

（1999-2000／愛媛大学大学院／北条RC）

JICA農業研修員として来日後、柑橘栽培研究のために大学院留学。帰国後、ネパール農業省や国際NGOと協力し、数々の農業支援プロジェクトの指導的役割を務める。ネパール学友会でも活躍。

アルチャナ シュレスタ ジョシ さん

ルーザー・トレーニングセンター代表 岡山県立大学外国人客員研究員

（2001-02／鈴鹿国際大学／鈴鹿西RC）

2003年にネパールの貧困女性の自立支援のため、縫製や刺繍の技術を教える職業訓練施設を設立。2006年ラリトプールRC入会。学校法人化のため岡山県立大学に再留学し、2015年博士号取得。

ビマ ドンガナ さん

Nepal Environment and Sustainable Agriculture Foundation (NESAF) 代表

（2009-10／宮崎大学大学院／都城西RC・えびのRC）

ネパール・カトマンズを本拠とするNGO団体「ネパール環境と持続可能な農業財団（NESAF）」の代表を務める。抗がん作用のあるグラウンドアップル（ヤーコン）の有機栽培指導などを行っている。

ウルミラ ライ さん

助産師

（2010-11／（公財）ＰＨＤ協会／篠山RC）

ネパール・ケンタ村の診療所勤務。看護師・助産師として経験を積むために（公財）ＰＨＤ協会で学び、帰国後、多くの村を巡回しながら出産・保健衛生・子どもの健康指導などを行っている。

ジャンチブ ガルバドラッハ さん

新モンゴル学園 理事長

（1998-99／山形大学大学院／山形北RC）

2000年、モンゴルに日本式高校「新モンゴル高校」を設立。現在は、小中学校・大学・高専を擁し、多くの卒業生が、日本はじめ海外の大学に留学。2015-16年度第3450地区フレーRC会長。

ツェレンミンジン ペレンレイ さん

Raashbulag社 社長

（2001-02／大阪国際大学／寝屋川RC）

ウランバートルで不動産業とレストランを経営。2014年3月創立のモンゴル学友会に理事として携わり、2015年から同学友会会長を務める。また同年、ジャンチブ氏の所属するフレーRCに入会。

ヒシゲー ダムチャー さん

政府行政機関子ども庁勤務 新モンゴル子ども園理事会委員

（2010-11／東北福祉大学大学院／仙台東RC）

新モンゴル高校1期生。帰国後、政府行政機関「子ども庁」に入職。児童家庭福祉サービスなどを担当。2016年9月開園の新モンゴル子ども園の設立に尽力。現在、同園の理事会委員を務める。

シルネン ブヤンジャルガル さん

新モンゴル工業高等専門学校 校長

（2010-11／千葉大学大学院／成田RC）

自身が高専で学んだ経験から、実践的技術者を養成する日本独自の教育制度、高等専門学校を作りたいと奔走。ジャンチブ・ガルバドラッハ氏の理解を得て、2014年、モンゴル初の高専を開校。

ボロルトヤ エンフボルド さん

在モンゴル日本国大使館 広報文化班勤務

（2010-12／山形大学／米沢RC）

在モンゴル日本大使館で、国費留学試験や留学フェア、日本文化紹介イベントの実施などを担当。2015-16年度は会員数105人のツェツェーグンRAC(ローターアクトクラブ)の会長としても活躍。

ボロルマー ナサンバヤル さん

JICA 社会保険実施能力強化プロジェクト プロジェクトアシスタント

（2011−12／宇都宮大学大学院／矢板RC）

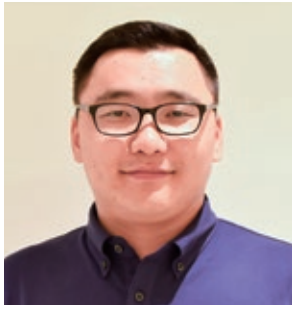
2016年5月より、JICAの社会保険実施能力強化プロジェクトメンバーとして参画。広報業務を中心に、全国民が社会保険の意義を十分理解し、加入を推進するさまざまな支援を行っている。

バャンバット トゥメンデルゲル さん

Capitronbank 海外事業部 日本国担当

（2014-15／大阪大学大学院／大阪東RC）

奨学期間中、世話クラブの大阪東RCとモンゴル・フレーRC協同で、モンゴルの4小学校に図書室を設置、そのプロジェクトの働きかけを行った。帰国後フレーRACに入会。現在、国際奉仕委員長。



スリランカ

Sri Lanka

ミラニ ワサンタマラ ウィラスリヤ さん

ルフナ大学 寄生虫学部 主任教授

（1983-87・95／九州大学大学院・愛知医科大学大学院／福岡南RC・尾張旭RC）

帰国後、スリランカ南部に新設された州立大学に赴任。フィラリア症の研究成果をあげ、寄生虫学部の創設教授となる。愛知医科大学など、日本との共同研究プロジェクトを実施している。

ラクナース ガマゲ さん

UNICAL KIDS GARDEN 園長

（1993-95／山口大学／宇部西RC）

「国づくりの第一歩は子どもの教育にある」と考え、2010年に幼稚園を設立。現在、約110人の子どもが通い、国の行政機関も視察に訪れる。2016年6月創立のスリランカ米山学友会初代会長。

ディルハン トタヘーワーゲー さん

Dawsons Pvt Ltd 他2社 業務執行取締役

（1994-96／福島大学／福島東RC）

コロンボでファミリー企業3社を経営。不動産業がメインで、ビルや商業施設の用地手配などを手掛ける。また、スリランカ学友会の創立幹事として、SNSなどを活用して会員間の交流を促進。

チンタカ クマーラ ウィジェシンヘ さん

国際メディカルテクノロジー専門学校 臨床工学技士科 学科長補佐

（1997-98／日本大学大学院／郡山安積RC）

郡山市内の医療技術系専門学校で、電気電子機械生体計測の講義や国際推進を担当。福島グローバルRC創立会員。2011年より第2530地区学友会会長。スリランカ学友会の創立にも貢献した。

ピーター フェルナンドプレ さん

会計監査法人Fernandopulle & Co. 代表

（1997-98／九州大学大学院／福岡RC）

公認会計士・税理士としてスリランカで日系企業の設立・財務コンサルティングに従事。また、Japan Lanka Plantation株式会社を設立し、日本の農家の指導を受けた農業をスリランカで展開。

タヌージャ マーラシンハ さん

テュフズードジャパン株式会社 審査員

（2008-09／信州大学大学院／諏訪RC）

信州大学医学部で発ガンにおける活性酵素の機能的役割を研究し、キユーピー株式会社勤務を経て、2015年9月から外資系審査会社テュフズードジャパン（株）で食品安全規格の審査員を務める。

サジーワニー ディサーナーヤカ さん

山武市役所市民自治支援課勤務（非常勤）コスモス奨学金日本事務局

（2011-13／千葉大学大学院／松戸西RC）

2020年東京五輪でスリランカ選手団の事前キャンプを受け入れる千葉県山武市で、シンハラ語・英語の講師を務める。母国の教育支援にも尽力。コスモス奨学金を通じて200人以上の里子を支援。

フイン ムイ さん

タンロン技術学院 院長

（1973-74／東京大学大学院／東京荏原（現・東京品川中央）RC）

1988年、ベトナム初の私立大学となるタンロン大学を首都ハノイに設立し、学長に就任。現在は、タンロン技術学院の院長として、学生への日本語教育やIT技術教育を通じた人材育成に尽力。

グェン ティ ミン ハイ さん

VIET TIEN MANH人材開発株式会社 会長、GoToJAPAN日本語・留学生センター センター長

（2006-07／北陸先端科学技術大学院大学／白山石川RC）

2014年にGoToJAPAN日本語・留学生センターを設立。これまでに約150人の卒業生を日本へ送り出した。また、広い人脈を生かし、ベトナムへ進出する日本企業への人材紹介も行っている。

チュオン トゥイ ラン さん

ニャナム出版社 編集者・翻訳家

（2006-07／お茶の水女子大学大学院／大宮北東RC）

出版社で編集の仕事をしながら、黒柳徹子著『窓ぎわのトットちゃん』、村上春樹著『女のいない男たち』、東野圭吾著『容疑者Xの献身』『秘密』など、日本の人気作品の翻訳を手がけている。

ブイ カン リン さん

GAIA Hanoiペットクリニック 院長 ハノイ農業大学寄生虫学科 副学科長

（2008-10／山口大学大学院／山口南RC）

2012年、ハノイ最大級の動物病院「GAIA」を設立。また、ハノイ農業大学で寄生虫学を教えている。子どもたちへの農業教育を実現するために、夫と共に私財を投じて、教育ファームを設立。

ホ ダン ミ アン さん

フエ外国語大学 日本語日本文化学部 副学部長

（2010-13／拓殖大学大学院／川崎麻生RC）

ベトナム対象にかつて試行した「現地採用奨学金」3期生。帰国後、フエ外国語大学に復職。日本で学んだ教授法を取り入れ、現在は、副学部長として母国での日本語教育の発展に貢献している。

ゴ ゴク クーン さん

ダナン市計画投資局投資部 勤務

（2013-14／長岡技術科学大学大学院／栃尾RC）

帰国後、ダナン市計画投資局に入職。横浜市との都市開発プロジェクトや日本企業の誘致などに従事。また、北海道の投資家と協力して、日本式幼稚園の開設やハイテク農業を実施している。

ズォン トゥイ リン さん

長崎国際大学 グローバル人材育成プロジェクト担当

（2013-14／佐賀大学大学院／鹿島RC）

長崎国際大学でベトナム人留学生をサポートする傍ら、自身の日本留学体験を本にまとめて母国で出版、3,000部が完売。2017年3月より、日本外国語専門学校のベトナム語教師に着任予定。

マレーシア
Malaysia

ウィ チー キョン さん

Budding Bean Limited, Executive Director,
マレーシア元留日学生協会（JAGAM）会長

（1985-87／専修大学／藤沢RC）

アジアの子ども向け英語教授法・教材を開発し、中国・日本など各国でライセンス販売を手掛ける。JAGAM会長など、元日本留学生同窓会の会長、副会長職を歴任。Puchong Centennial RC創立会員。

黄 麗容（ウォン ライヨン） さん

First Penguin Sdn. Bhd. Founder & Director

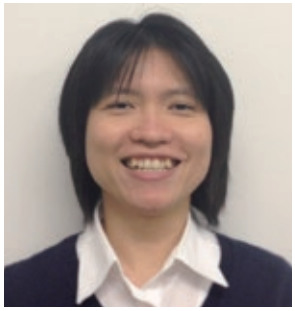
（2001-04／横浜国立大学大学院／横浜泉RC）

母国や日本の若者のグローバル人材育成のコンサルティング、研修、セミナーを行う会社を設立。マレーシアを中心に講演、啓発ワークショップを多数実施。マレーシア米山学友会初代会長。

池 慧詩（チー フェイシャイ） さん

日本全薬工業株式会社 東京支社 マネージャー

（2005-07／帯広畜産大学／帯広東RC）



獣医師免許を取得して卒業後、動物用医薬品の製薬会社に入社。多忙な仕事の傍ら、十勝発祥のコミュニティスポーツ、パークゴルフの海外普及に尽力。デンマークに専用ゴルフ場開設を実現。

ミャンマー
Myanmar

ティンエイエイコ さん

ティンミャンマーランゲージセンター 校長

（1995-96／神戸大学大学院／加古川中央RC）

2001年、ヤンゴンに「ティンミャンマーランゲージセンター」を設立。少人数制と独自に開発された教材やカリキュラムの質の良さで定評があり、ミャンマーの日本語教育の向上に貢献している。

タンシンナイン さん

Japanese English Training Centre 校長

（2003-05／電気通信大学大学院／東京調布RC）

帰国後、語学学校を設立。また、携帯電話産業や不動産サービス・資産運用などの事業を次々に立ち上げた。日本の大手総研のアドバイザーも務める。東京米山ロータリーEクラブ創立会員。ミャンマー米山学友会初代会長。

ケィカィン ウィントゥラ さん

HIKARI Japan Store・HIKARI日本語学校経営

（2010-11／京都産業大学／京都西RC）

2016年5月、日本製の良質な日用品を仕入れて販売するHIKARI Japan Storeをヤンゴンに開店、全国への店舗展開を計画中。また、HIKARI日本語学校を開設し、母国の人材育成に尽力している。

カンボジア
Cambodia

オム ロムニー さん
カンボジア工科大学 学長
（2000-02／北見工業大学大学院／北見東RC）

2005 年よりカンボジア随一の国立工科系大学、カンボジア工科大学の学長に就任。人材を育成するとともに、日本の大学と協定を結んで学術交流を促進。2015年12月に日本の外務大臣表彰を受けた。

ハク ユー さん
(株)ピーシーレールウェイコンサルタント 技術第一部 課長補佐
（2000-02／徳島大学大学院／徳島RC）

帰国後、数々のＯＤＡプロジェクトに技術者として参加。カンボジア環境省とアジア開発銀行のプロジェクトでは「インフラ・気候変動スペシャリスト」として参与。2016年9月より日本で現職。

クン ソピアプ さん
パンナサストラ大学 講師（物理・数学）
（2004-06／広島市立大学大学院／呉南RC）

世話クラブの呉南RCの協力で高校・大学生向けの物理参考書などを出版。2015年、国定教科書に準拠し、カンボジア全土の中学・高校に数学・物理の教科書・参考書を寄贈するプロジェクトを開始。

バングラデシュ
Bangladesh

シャヒン モハメド ミザヌル ラハマン さん
株式会社ＪＢネット代表取締役
（2000-02／拓殖大学／東京城北RC）

IT企業経営の傍ら、2012年に私財を投じて「BISWAS奨学財団」を創設し、母国の高校生が大学進学できるように奨学金を支給している。東京米山友愛RC創立会員。2013-14年にはクラブ会長を務めた。

MD アノア フサイン ミアン さん
ダッカ大学付属シティ・デンタル・カレッジ 准教授
（2006-08／東京医科歯科大学大学院／東京王子RC）

博士号取得後、バングラデシュに帰国し、未来の歯科医師養成に尽力。医療ボランティア活動にも精力的に取り組み、地方に出向いて貧しい人々に医科・歯科の無料診療を行う医療キャンプを開催。

シャジェダ パロヴィー さん
株式会社ダイナックス Advanced Technology Development Team, Team Leader
（2006-08／高知工科大学大学院／高知南RC）

ナノサイエンス・テクノロジーの専門家。2016年5月「SAE Foundation Young Industry Leadership賞 2016, USA」を受賞。また、母国の大学にノートパソコンや奨学金を贈って支援している。

その他の国々
Other Countries

チャンタソン インタヴォン さん
特定非営利活動法人「ラオスのこども」共同代表

ラオス 1983−86／東京都立大学大学院／東京銀座RC

母国ラオスでの絵本や児童書の出版、学校図書室の設立などに取り組んでいるほか、伝統的な織物文化を継承するための職業訓練センターや少数民族のリーダーを教育する学校を設立・運営している。

ヤスニ セダルナワティ さん
Bogor農業大学食料科学工学科 講師

インドネシア 1990-93 ／九州大学大学院／久留米RC

食品工学博士としてハーブとスパイスの機能を分析、食用・薬用の利用・応用に貢献する開発研究を続け、その功績に対して国からの表彰多数。インドネシア企業管理機構上級研究者としても活躍。

兪 家麗（イー カーリーカレン） さん
(株) サンプラネット勤務

シンガポール 2010-11／東京女子医科大学大学院／東京武蔵野中央RC

先端生命医科学専攻。卒業後、群馬大学医学部研究員を経て、現在、製薬会社エーザイグループの(株)サンプラネット(群馬県)に勤務。販売前の新薬の安全性の評価や毒性の試験を担当している。

ネタニ ルチ さん
同時通訳者

インド 1993-95／熊本大学大学院／熊本RC

高度な日本語力だけでなく、日本の商習慣や社会通念まで深く理解しており、帰国後は緊密化する日本とインドをつなぐ懸け橋として、ＶＩＰクラスの通訳を担当。モディ首相来日時にも随行して通訳を務めた。

バヒリディノフ マンスール マルフォビーチ さん
一般財団法人ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金 代表理事

ウズベキスタン 2004-06／慶應義塾大学大学院／東京恵比寿RC

ウズベキスタン外務省職員に採用され、在日大使館の文化担当官となる。また、「ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金」の駐日代表部代表理事も兼任し、両国の交流を推進する役割を担う。

ロヴェナ カヴァラシエジュテ さん
Druskininkai Atgimimas School 教員

リトアニア 2009-11／信州大学大学院／須坂RC

帰国後、学校に復職し、日本で経験したことをリトアニアの生徒たちと分かち合いたいと、ジャパンクラブを設立。生徒たちに日本文化を紹介しているほか、日本の学生たちと交流を図っている。

ブレンディ バロリ さん

新潟経営大学 専任講師

アルバニア　2005-07／新潟大学大学院／新潟中央RC

2015年4月から新潟経営大学観光経営学部で、県内の観光の魅力を学生たちに教え、新潟の観光資源を発掘している。そのほか、アルバニアに関する本を夫婦で出版するなど、地域に根ざして交流。

ジャンルカ ボナンノ さん

特定非営利活動法人
International Peace and Sustainability Organization(IPSO) 理事長

イタリア　2009-11／立命館大学大学院／京都西南RC

2015年、京都市内に国際NGOを設立し、発展途上国における開発事業に携わる。開発コンサルタントとして、2012年からロータリーの支援活動にも参加。また、武術師範として道場をもち、国内外で教えている。

マーヒル エルシリビーニー さん

カイロ大学文学部日本語部門 主任教授

エジプト　1989-91／広島大学大学院／広島東RC

日本の原爆体験をアラブ圏に伝えたいと、帰国後、被爆者の手記「語りびと」を2年かけてアラビア語に翻訳し、2011年にエジプトで出版。また、2015年2月には「はだしのゲン」翻訳版を出版した。

モハメド オマル アブディン さん

東京外国語大学 特任助教、スーダン障害者教育支援の会(CAPEDS) 創立代表理事

スーダン　2005-08／東京外国語大学／東京国立白うめRC

12歳で視力を失いながらも日本に留学。母国の紛争予防について研究する傍ら、厳しい環境にある母国の視覚障がい者を支援するためにNGOを設立。多くの若者が活動に参画し、世話クラブも協力。

イガ アラン さん

(株)GSユアサ 国際事業部勤務

ウガンダ　2006-08／熊本大学大学院／玉名RC

2016年4月より、電池製造メーカーである(株)GSユアサ国際事業部にて、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカの顧客の技術支援を担当。また約9年にわたり、第2650地区学友会の副会長を務める。

アドゥアヨム アヘゴ アクエテビ さん

新潟医療福祉大学大学院 博士課程

トーゴ　2014-15／新潟医療福祉大学大学院／新発田城南RC

現在、博士課程に進学して義肢装具の研究を続ける。2016年、義肢装具のサテライトオフィスをガーナに開設。日本の義足製作企業から集めた部品を現地でリサイクルして、義足の制作に取り組む。

エドナ スヤパ メヒア ガルダメス さん

Eden Technical Trilingual Kindergarten and School 校長

ホンジュラス　2006-07／広島大学大学院／東広島RC

帰国後、ホンジュラス第二の都市、サンペドロスーラ市内に、幼稚園・小学校を開校。キリスト教教育と理数科教育のほか、日本語、英語、スペイン語を学ぶ3カ国語教育を特長としている。

カレン ジュリア ウォーターズ さん

オフィスカレン 代表

オーストラリア　1992-94／立命館大学大学院／京都南RC

大阪に英会話教室を開校。語学のみならず、タンザニアの里子支援、外国人講師による異文化体験や社会奉仕活動を通じて、世界に興味を持ち、他者を尊重する子どもの心を育む。ほか講演多数。

栄えある受章・受賞おめでとうございます！

平成26年度 旭日中綬章 受章

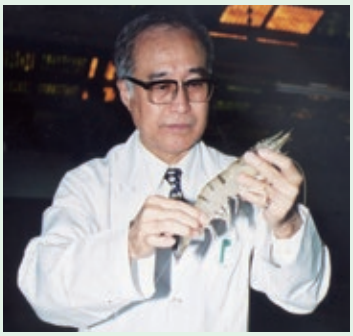
廖（リョウ）　一久（イッキュウ） さん
（台湾／1965-68／東京大学大学院／田原RC）

台湾で“エビ養殖の父”として知られる米山学友、廖一久さんが、平成26年春の外国人叙勲で、日本政府から旭日中綬章を受章しました。廖さんは東京大学で水産学を研究し、帰国後は水産試験所研究員として、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させるなど、台湾のみならず世界の養殖業に多大な影響を与えました。

廖さんからのメッセージ

これは皆さまからいただいたご支援とご鞭撻、特に、留学生時代にいただきました米山記念奨学金に負うところが大変大きいと思います。今回の叙勲の名誉を汚すことのないよう、心を引き締めて精進する所存です。

交流協会台北事務所で開かれた旭日中綬章の伝達式にて



“エビ養殖の父”と呼ばれる廖さん

平成26年度 旭日小綬章 受章

アウン チョウ さん
（ミャンマー／1962-66／東京大学大学院／東京北RC・東京南RC）

平成26年秋の外国人叙勲で旭日小綬章を受章されたアウン チョウさんは、1966年に東京大学で医学博士号を取得し、帰国後はミャンマーで2人目の脳神経外科医として活躍。退職後は、Myanmar Academy of Medical Scienceの事務総長に就任したほか、日本の国費留学生の面接官やミャンマー元日本留学生協会会長など、日本留学にかかわる要職を歴任されました。

2017年2月のミャンマー米山学友会設立総会に、ご家族の付き添いの元、駆けつけてくださったアウン チョウさん

平成27年度 旭日小綬章 受章

グエン トリ ユン さん

（ベトナム／1976-79／筑波大学大学院／土浦RC）

グエン トリ ユンさんは、ベトナム初の民間ビジネススクールを設立し、日本企業との橋渡しをするなど、長年にわたる日越両国間の経済関係の強化、文化交流および相互理解の促進へ寄与してきました。現在はJAVINET（JAPAN VIETNAM NETWORK）代表として、両国の文化・経済・科学技術の交流に力を入れています。

ユンさんからのメッセージ

今まで私を支えてくださった人たちとの素晴らしい出会いに感謝の気持ちでいっぱいです。日本で得た"人づくり"の大切さをベトナムに伝えています。この厳しい時代を乗り越えて、より人間中心の社会の実現に貢献したいと考えています。米山奨学金の理念に、敬意と感謝の意を表します。

第8回 若者力大賞 受賞

ジギャン クマル タパ さん

（ネパール／2008-09／横浜国立大学大学院／横浜たまRC）

ネパール出身の米山学友、ジギャン クマル タパさんが2017年2月、公益財団法人日本ユースリーダー協会による「第8回若者力大賞」を受賞しました。この賞には、人知れず社会的な活動を継続している使命感と行動力を持った若者およびその支援者、計5名（組）が選出され、タパさんはその大賞に輝きました。タパさんは現在、国際交流財団職員とネパール政府公式通訳者という二足のわらじで多忙な日々を送る中、東北や熊本の震災の被災地で炊き出しを行ったり、2015年4月のネパール地震で被災した子どもたちの、給食栄養改善プロジェクトなどに取り組んでいます。

熊本地震発生から6日後、まだ余震がつづく中、タパさんは神奈川県から熊本市まで電車を乗り継ぎ、在日ネパール人の皆さんとともにカレーの炊き出しを行った

2017年2月21日「若者力大賞」授賞式でスピーチするタパさん

タパさんからのメッセージ

このたびの受賞に、素直に喜びを感じています。給食制度のないネパールの子どもたちに、栄養のある、ゆでたまごを届けるプロジェクトも、東北、ネパール、熊本の震災被災地での支援活動ができたのも、ロータリアンの皆さまに『奉仕の理想』を教えていただいたおかげです。

これまでに学友から約3千万円の寄付が寄せられました！

米山記念奨学事業は、ロータリアンからの寄付によって支えられていますが、近年、学友からの寄付も増えています。「お世話になった恩返しに」「後輩を応援するために」との思いの込もった学友からの寄付金は、総額2,850 万円超（2017年1月現在）にのぼります。

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付には、表彰制度があります。
個人特別寄付の累計が10万円に達すると、感謝状と共に、第1回米山功労者の称号が贈られます。
以降、累計20万～90万円は「米山功労者マルチプル」、累計100万円に達すると、「米山功労者メジャードナー」と称号が変わります。

寄付を続けてくださっている学友の「思いと願い」

鐘（ショウ）　維源（イゲン） さん　〔台湾／1966-67／大阪大学大学院／堺RC〕

2013年11月、台湾の学友、鐘維源さんが奥様と一緒に事務局を来訪し、「日本のみなさんに恩返しをしたい」と、米山奨学会へ10万円を寄付してくださいました。鐘さんが日本に留学したのは50年以上前。当時は航空券を買うお金もなく、12 人乗りのバナナボートで来日。東京農工大学で学んだ後、大阪大学大学院へ進学し米山奨学生となりました。「社長さんなど偉い方ばかりで、私は上手な日本語も話せず、例会では小さくなっていた」と、当時を振り返る鐘さん。現在は、奥様とともに台湾で高分子化学の会社を営んでいます。亡くなったお兄さんを記念して奨学金制度を作り、高校生約10人を毎年支援するなど、社会貢献をモットーとし、2011 年の東日本大震災の時には、会社の1ヶ月分の売り上げを 義援金として送ってくださったそうです。

なお、2015年11月にも、10万円のご寄付をしてくださいました。

鐘さんからのメッセージ

学業に限らず、日本の文化、社会、日本人の卓越なる道徳、社会に貢献する精神、礼儀作法等多くのことを留学の成果として、台湾に持ち帰りました。以来、逆境の中でなんとか頑張っています。私はロータリアンではありませんが、社会に対する貢献、奉仕の精神は今でも堅持しています。ありがとうございます。

清野（キヨノ）　允中（ノブナカ） さん　〔台湾（現在は日本国籍を取得）／1990-92／名古屋工業大学大学院／江南RC〕

2009年、仕事で駐在されていたシンガポールから、「第2590地区（神奈川県）で毎月1万円ずつ寄付をしていた米山学友を見習って、米山への寄付を始めたい」と連絡をくださった清野さん。実際に、その年の8月からほぼ毎月、1万円の寄付を続けてくださっており、その累計は、77万円を超えています（2017年1月現在）。

清野さんからのメッセージ

寄付は、頂いた奨学金に比べてまだ全然足りず、思いを語るほどのものではありませんが、願いは、海外から日本に来られる若い人たちがもっと日本のことを知り、一緒に良い未来を創っていくことです。

姫（キ）　軍（グン）さん　〔中国／1995-97／東京大学大学院／東京臨海RC〕

中国の弁護士、姫軍さんが最初に奨学会に寄付をしてくれたのは 2007年。**「在学中に米山奨学金に大変お世話になった恩に報いたい。それとともに、私がいただいた恩を次の世代に伝えたい。米山奨学会に寄付することで、この2つの目的を同時に達成できると考えました。できれば、これから毎年 50 万円ずつ寄付したいと思います」**と、そのとき語った言葉通り、以降10年にわたって、毎年50万円を送金してくださっています。50万円というのは、世話クラブの東京臨海RCが、東大を卒業してハーバード大学に留学する姫さんに、「アメリカでは車が必要だから」と贈ってくれた50万円の餞別に由来するのだそうです。2017年1月現在、寄付の累計は519万円超。第51回米山功労者メジャードナーです。

張（チョウ）　虞安（ユウアン）さん　〔中国／1998-2000／近畿大学大学院／交野RC〕

アメリカ・ボストンで、製薬会社に勤務する張虞安さんは、2007年から毎年10月の米山月間に、アメリカから寄付を送り続けてくださっており、その累計は160万円を超えています。

なお、2016年2月には、張さんの昔の指導教員だった大学の先生からも、次のようなメッセージとともに、70万円ものご寄付をいただきました。

「張さんが中国薬科大学からの交換留学生として、私の研究室に配属されたのがご縁の始まりでした。彼が博士課程へ進学する際、たしか制度上の理由で、1年間、入学を待ってもらうことになりました。張さんは経済的に極めて厳しい状況で、その生活ぶりに私も心配し、時折援助したこともありました。その後、米山奨学生に受け入れていただき、彼の経済的ピンチが救われ安堵すると同時に、貴奨学会の重要性を認識し、感激したことを今もはっきりと覚えています。あれから20年、今回思いがけず、私の退任祝いにと、張さんから多額のお金をいただきました。何かに役立てたいと思っていたところ、彼が貴奨学会に毎年寄付していることを知りました。彼の想いを大切にし、さらなる奨学金の広がりを祈念しながら、張さんの名義で寄付をさせていただきます」

張さんからのメッセージ

米山奨学金はお金だけでなく、私に尊厳と希望、生きる指針を与えてくれました。ですから、将来は少しでもお返しをしようと心に決めていました。卒業後、より良い研究環境を求めて渡米し6年がたったころ、初めて1,000ドルを奨学会に寄付することができました。以来、毎年10月の米山月間に送金していますが、寄付することで、自分の精神がリフレッシュされると感じます。寄付は、自分が誰かの役に立ちたいと思った時、本当に簡単で効果的な行為ではないでしょうか。お世話になった一人として、この事業が末永く継続されるよう、累計10万ドルの寄付を目指し、今後も支援を続けていきたいと思います。

曲（キョク）　仁民（ジンミン）さん　〔中国／2008-10／岡山大学大学院／岡山南RC〕

中国・大連の大手法律事務所で弁護士として活躍する曲仁民さんは、多くの日本企業を担当しています。2015年6月、2016年8月と、仕事で来日して世話クラブを訪れるたびに、世話クラブを通じて米山奨学会に10万円ずつ寄付をしてくださいました。

曲さんからのメッセージ

改めてロータリークラブの皆さまの温かい心遣いを感じるとともに、大変励まされました。これからもご恩を忘れずに、ロータリー精神を少しでも引き継いでいけるよう、頑張りたいと思います。

そのほかの学友や学友会からも温かい言葉とご寄付をいただきました。ご支援ありがとうございました。

よねやま親善大使が大活躍！

よねやま親善大使は、ロータリーや一般社会で米山記念奨学事業のPRをし、理解を深める活動をしています。現在、個性豊かな3人の第2代よねやま親善大使が、全国の地区大会や米山セミナーでスピーチし、現地のロータリアンや米山学友・奨学生と交流するなど活躍しています。好評につき、第2代よねやま親善大使には、任期を1年延長していただくことになりました！2018年6月まで活動を継続しますので、各地区のイベントにぜひお呼びください。

韓国

キム　ボクハン
金　福漢 さん

NPO法人 織の音アート・福祉協会 理事長、織の音工房施設長
（1995-97／埼玉大学大学院／大宮北RC）

幼少期にポリオによる麻痺を発症し、障がい者教育を学ぶために日本に留学。卒業後、埼玉県内で知的障がい者の自立支援と手織り伝統技術の継承に努めるための工房を開設した。世話クラブの大宮北RCとは現在も密接に交流を続け、共に地域振興・福祉向上のために協力している。特技は「折り紙」で、韓国の大臣賞を受賞した腕前。2016年ソウル国際大会では、「友愛の家」の米山記念奨学会ブースで平和折り紙教室を開催し、好評を博した。

第2530地区米山学友会主催イベントで、「折り紙」を用いた講演をする金さん

――ここに注目！――

身近な「折り紙」をツールに、全員が参加し、考えることのできるスピーチを信条とする金福漢さん。「たかが折り紙」と侮ることなかれ。深イイ話に心が温まります。

中国

ウ　エイ
于　咏 さん

愛知ロータリーEクラブ創立会員
（2005-07／名古屋大学大学院／名古屋中ＲＣ）

現在、外資系生命保険会社に勤務。2014年5月に創立された愛知ロータリーEクラブにチャーターメンバーとして入会。2016-17年度は第2760地区学友委員会の委員のほか、クラブのロータリー財団委員長・米山委員長を務める。堪能な語学力と行動力で、海外のロータリークラブにも米山をＰＲ。米山奨学会への寄付も率先して行い、現在、第３回米山功労者マルチプル。特技はヨガで、インドへも頻繁に訪れている。

第2630地区の2015-16年度地区大会において、「基調講演」を行う于さん

――ここに注目！――

よねやま親善大使の中では唯一のロータリアンである于咏さん。彼女のロータリーへの愛、米山への愛にあふれたスピーチは、聞く人を元気にさせると好評です。

スリランカ

スチッタ グナセカラ さん

スリランカ・別府日本語学校　校長
（2010-11／別府大学／別府RC）

2010年、スリランカで「スリランカ・別府日本語学校」を設立。留学を希望する若者へ日本語や日本文化を教え、これまでに69人の卒業生が日本留学の夢を果たした。その中から、米山奨学生に選ばれた者もいる。別府大学大学院博士課程で日本語の研究を続ける傍ら、別府に留学する卒業生のケアにも努め、2016年設立された第2720地区米山学友会では副会長としてロータリー活動に参加している。特技は、スリランカカレーづくり。

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）で活動報告をするスチッタさん

――ここに注目！――

母国に日本語学校をつくり、多くの卒業生を日本留学に送り出しているスチッタさんの活躍を聞けば、まさに米山奨学事業の意義を実感できること、間違いなし！

ソウル国際大会に米山学友が大集合！

韓国ソウルで開催された2016年国際ロータリー年次大会（ソウル国際大会：2016年5月28日～6月1日開催）に、世界各地から米山学友が大集合しました！
米山記念奨学会では2004年の大阪国際大会、2012年のバンコク国際大会に続き、このソウル国際大会にブース出展するとともに、初めての「分科会」を開催。地元・韓国はもとより、日本、台湾、中国、タイ、モンゴル、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ニュージーランドなど、世界各国から多くの米山学友が参加してくれました。学友同士、そして、学友とロータリアンがあらためて絆を深め、参加者の心に残る、素晴らしい機会となりました。

ブース 5月28日～6月1日

米山ブースには連日、多くのロータリアンと学友が来てくださいました。常にブースの外に人があふれている状況で、その様子は、国際ロータリー／Rotary Japanのニュースになるほどでした。韓国学友が民族衣装を着て手伝ってくれたほか、よねやま親善大使も、事業の紹介に大活躍でした。メッセージボードには米山に対する熱い思いが並び、ブースの目玉となりました。

学友合同懇親会in Seoul 5月28日18:30～22:00

開会式前日、各国から集まる米山学友と日本のロータリアンとの交流を深めようと、韓国学友会と各国学友会が合同で企画した懇親会が、ソウル市内のホテルで開催されました。学友165人、そのほかロータリアンや家族など、参加者は総勢333人！満席の会場は終始熱気にあふれ、各国学友会の楽しい余興も披露され、最後まで参加者を楽しませました。

学友レセプション 5月29日13:30～15:00

開会式当日に国際ロータリー（RI）主催の学友レセプションが開催され、青少年交換やローターアクトに参加した学友とともに、米山学友も多数参加しました。マレーシアの学友が集まって、学友会設立に向けて結束を固めるなど、新たな出会いと交流が生まれました。

分科会 5月30日15:30～17:00

米山史上初の「分科会」が開催されました。初公開のオープニング映像の後、台湾の林華明さん、モンゴルのジャンチブ ガルバドラッハさん、中国の姫軍さんによるスピーチ、そして、台湾・中国・タイ・モンゴル・韓国の各学友会会長が活動報告をしました。約200人の来場者は、学友と日本のロータリアンがほとんどでしたが、興味をもって聞きに来てくれた海外のロータリアンの姿もありました。韓国語の同時通訳は、プロの通訳者として活躍する韓国学友の黄セミさんが担当。彼女の最後のスピーチと全員で歌う「手に手つないで」の締めくくりに、参加したロータリアンからは「涙が出るほど感動した」との声も聞かれました。

好評を博した金福漢さんによる平和折り紙教室

民族衣装を着た韓国学友がゲストに応対

米山へのメッセージを寄せる学友

合同懇親会で各国学友が演芸披露

大勢の米山学友が参加した学友レセプション

米山史上初の分科会を開催

このソウル国際大会の米山ダイジェストをまとめたビデオ『世界に羽ばたくYONEYAMA in SEOUL』を、米山奨学会ホームページで公開しています。

芸術を担う学友たち ～文化芸術の表現者として活躍する学友をご紹介

陶芸

張（ツァン）　義明（イーミン）さん

（台湾／1997-99／和歌山大学大学院／和歌山城南RC）

張義明さんは、米山奨学生に合格した直後、和歌山大学に向かう途中で交通事故にあい、両手・両足・肩・骨盤を複雑骨折するという重傷を負いました。「もう一生陶芸はできない」と医師から言われたほどでしたが、不屈の精神でリハビリに耐え、大学院卒業後は和歌山県龍神村に拠点をおき、美術講師や村の陶芸教室の指導をしました。2010年に、京都の京北にアトリエ＜緑窯＞を構え、作品を作り続けています。温かみのある作品にファンも多く、日本と台湾の各地で個展を開き、多くの陶芸賞に入選するなど、活躍しています。

作品を制作する張さん

東京都美術館でのグループ展には台湾学友会メンバーや奨学生、ロータリアンなど、米山関係者が応援に駆けつけた

油絵

モハメド イクバル さん

（バングラデシュ／2008-10／東京芸術大学大学院／東京リバーサイドRC）

イクバルさんは、国費留学生として来日後、すぐに画家として頭角をあらわし、2005年、外国人として初めて、新人画家の登竜門として名高い「青木繁記念大賞公募展」の大賞を受賞しました。その後、東京藝術大学大学院博士課程に進学し、2年間、米山奨学生となりました。帰国後、ダッカ大学美術学部の准教授として教鞭を執る傍ら、世界各地で個展を開催。東京藝術大学とダッカ大学美術学部の間で学術交流を進めるなど、精力的に活動しています。イクバルさんの作品は、バングラデシュ首相官邸などに所蔵されています。

ダッカ大学を訪問した安倍首相に自身の作品を贈るイクバルさん

介します～

友禅染め

崔（チェ）　任廷（イムジョン）さん
（韓国／2011-13／東京芸術大学大学院／東京城西RC）

崔任廷さんは、東京藝術大学大学院で友禅染について研究し、2013年に博士号を取得して帰国しました。現在は、釜山にある慶星大学の教授として、テキスタイル専攻の学生を指導しており、友禅や型染めなどの伝統的な染色技法とともに、さまざまなテキスタイルの技法を教えています。また、テキスタイル作家としても活躍。日本で学んだ友禅を元にし、それを応用した独自のテキスタイル作品を製作しています。高齢者福祉にも熱心に取り組み、天然染色のファブリックを製作する高齢者対象のプロジェクトも進めています。

自身の作品を前にする崔さん

邦楽

コリーン クリスティナ シュムコー さん
（アメリカ／2014-16／東京芸術大学大学院／東京葛飾RC）

コリーンさんは、日本の伝統音楽である長唄と三味線について研究しています。博士課程の2年間、米山奨学生となり、世話クラブのロータリアンと家族のような交流を育みました。「さまざまな民族音楽の価値を伝えていくことが夢」と語るコリーンさん。2016年秋には、自身が作曲したオリジナル三味線楽曲のファーストCD『野澤徹也によるコリーン・シュムコー三味線作品集』を発売（Tower Recordsのホームページから購入可能）。その中には、ロータリーとの交流でインスピレーションを得て作曲した曲も含まれています。

コリーンさんCDジャケット

ガバナーエレクト研修セミナー（GETS）で演奏するコリーンさん

3 米山学友会の活動

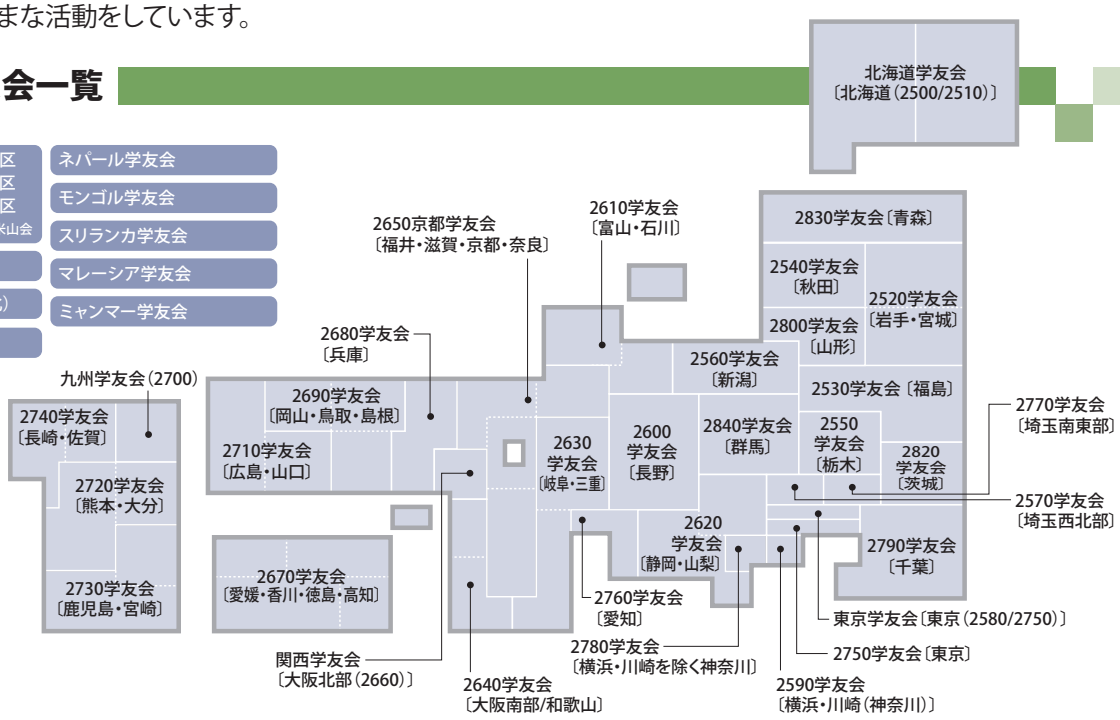
米山学友会は、学友と現役奨学生によって組織される米山記念奨学生の同窓会組織です。現在、日本国内に33、海外に9（台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー）の計42の米山学友会があります。

いずれの学友会も、会員同士、会員とロータリアンとの親睦を深めたり、地域のロータリー地区と協力して奉仕活動を行うなど、さまざまな活動をしています。

米山学友会一覧

海外

- 台湾学友会（北部地区／中部地区／南部地区）
  ※正式名称：㈳中華民国扶輪米山会
- 韓国学友会
- 中国学友会（上海・華北）
- タイ学友会
- ネパール学友会
- モンゴル学友会
- スリランカ学友会
- マレーシア学友会
- ミャンマー学友会



学友会が震災復興支援に尽力

ネパール地震への募金活動

【関西〈第2660地区（大阪府）〉】

2015年4月に発生したネパール大地震への支援のため、地域の祭りとタイアップした「ロータリーフェスティバル」で募金活動を行い、47万円以上を義援金として寄付しました。

熊本地震復興支援のバザー開催

【第2720地区（熊本県・大分県）】

2016年2月に誕生したばかりの新しい学友会ですが、同年4月に発生した熊本地震の復興支援のためにバザーと募金活動を行い、全額の 約15万7千円を熊本へ寄付しました。

そのほかにも国内外の学友会・学友個人が、義援金を寄付してくれたり、被災地でボランティア活動を行うなど、復興支援に尽力しています。

国内学友会

国内の米山学友会は、地区のロータリアンと協力しながら、地域密着でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます

母国の手料理で感謝を伝える【第2530地区（福島県）】
学友会創立15周年記念総会で、地区のロータリアンに母国の手料理を振る舞い、感謝を伝えました。

せんべい作りを体験【第2560地区（新潟県）】
親睦旅行で新潟県内の文化施設を周り、せんべい作りや笹団子作りなど日本の文化を体験しました。

地域伝統の踊りを習得【第2570地区（埼玉県）】
8月に埼玉県秩父市で盛大に行われる「秩父音頭祭り」に参加し、練習を重ねた見事な踊りを披露しました。

地域の高齢者と交流【第2770地区（埼玉県）】
敬老の日に合わせて高齢者福祉施設を訪問し、歌を披露したり歓談するなど、入居者と交流しました。

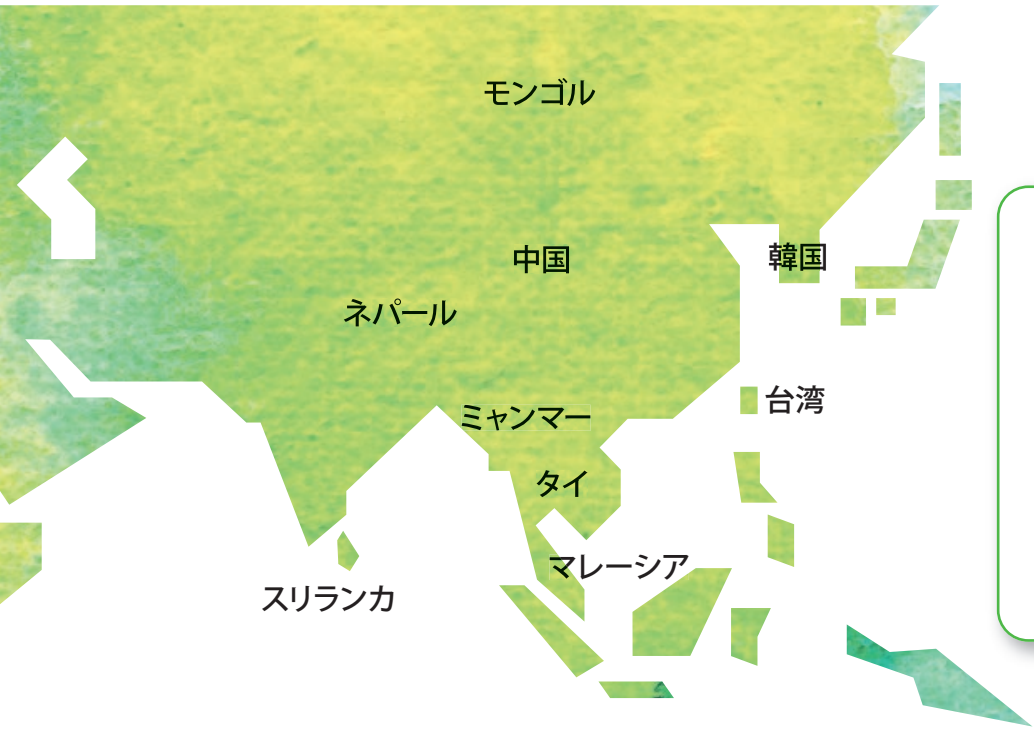
米山梅吉翁のお墓参り【第2820地区（茨城県）】
親睦旅行で静岡県の米山梅吉記念館を訪問し、敷地内にある米山梅吉翁のお墓に手を合わせました。

あこがれの着物を体験【第2590地区（神奈川県）】
留学生にはなかなか着る機会のない着物。ロータリアンの支援で、全員が着物を着て披露しました。

ポリオ撲滅募金活動に協力【第2620地区（静岡県・山梨県）】
ロータリーが全世界的に取り組むポリオ撲滅キャンペーンに協力し、地区大会で募金活動を行いました。

日本企業の見学会を実施【第2760地区（愛知県）】
ロータリアンの協力のもと、地区内の会員企業を見学し、日本の産業についての理解を深めました。

海外学友会　帰国した米山学友のネットワークが拡大しています



台湾学友会	1983年1月設立
韓国学友会	1989年6月設立
中国学友会 （上海学友会は2002年に結成）	2009年3月設立
タイ学友会	2012年3月設立
ネパール学友会	2013年10月設立
モンゴル学友会	2014年3月設立
スリランカ学友会	2016年6月設立
マレーシア学友会	2016年9月設立
ミャンマー学友会	2017年2月設立

速報！海外米山学友会が続々と誕生！

New! マレーシア米山学友会

2016年9月、マレーシア米山学友会の創立総会がペナン州で開かれ、学友21人が出席。5月のソウル国際大会参加を機に、マレーシアの学友たちが学友会設立に向けて動き出し、早期に実現しました。2017年2月には創立記念パーティーが開かれ、日本や台湾、タイなど多数のゲストが祝福に駆けつけました。

2016年9月の創立総会に出席した学友たち

New! ミャンマー米山学友会

東京米山ロータリーEクラブ2750のプロジェクトとして、ミャンマー国内の日本語学習者に向けて冊子を発行する活動を通じて、帰国した学友が連絡を取り合うようになり、学友会を設立する運びとなりました。創立総会は、2017年2月に、ヤンゴン市内で開催されました。

2017年2月の創立総会で集まった学友たち

台湾米山学友会 正式名称：社団法人 中華民国扶輪米山会

2009年から台湾の大学・大学院で学ぶ日本人留学生を奨学支援しています。これまでに累計16人が支援を受けました。2016年9月採用の第8期生は2人。それぞれに毎月25,000台湾ドル（約9万3千円）が支給され、学友のカウンセラーも付いて、物心両面で支えています。そのほか、台湾で行われる日本留学フェアにブース出展し、日本留学や奨学金の情報を提供するなど、日台の親善交流と人材育成のためにさまざまな活動をしています。

日本留学を希望する台湾の若者に情報提供

韓国米山学友会

毎年、春に帰国学友歓迎会、秋に総会を開き、親睦と交流を深めています。2016年5月に開催された「ソウル国際大会」（P.23参照）では、世界各国から参加した米山学友やロータリアンを歓迎する懇親会を主催するなど、韓国学友会が大活躍してくれました。2016年3月には学友会が母体となって、31人の創立会員が全員米山学友という、韓国米山セソウルロータリー衛星クラブを設立。日本人留学生への奨学支援もスタートしました。

学友会を母体としたロータリー衛星クラブを創立

中国（上海）米山学友会

2015年12月、2年半ぶりに上海で総会が開催され、中国各地から学友約120人と家族・知人、日本からのロータリアンなど総勢140人が駆けつけ、再会と新たな交流を喜び合いました。上海米山学友会では、2014年に若くして急逝した米山学友の柴生芳さんを記念し、柴さんが県長を務めた甘粛省臨洮県の山中にある貧しい小学校を支援しています。2015年には柴さんの名を冠した図書室を寄贈、翌年9月にはパソコン2台を寄贈しました。

中国全土から120人の学友が総会に出席

タイ米山学友会

2016年3月の学友会総会で、2年に1度の役員改選が行われ、新体制が始まりました。同学友会は2012年に創立後、海岸清掃や児童養護施設への慰問などを行っています。2016年7月には新しい奉仕活動として、世界自然遺産に認定されるタイ東北部のタップラーン国立公園を訪れ、地元市役所の協力を得て、苗木60本を植える植樹活動を行いました。終了後は、全員でY字型ゴムパチンコを使った種飛ばしを楽しみ、自然と触れ合いました。

植樹活動を通じて家族ぐるみで交流

ネパール米山学友会

2016年10月、設立総会以来、またネパール大地震後初めてとなる年次総会を開催し、学友13人とその家族、計16人が出席しました。2015年4月に発生したネパール大地震への復興支援活動として、同学友会ではすでに、日本全国の地区・クラブ・ロータリアン個人、米山奨学生・学友から寄せられた義援金をもとに、被災学生 24人への奨学金支給を行っています。今後はさらに、被災した2つの村への農業支援を実施する計画です。

24人の地震被災学生を奨学支援

モンゴル米山学友会

2014年3月に設立された新しい学友会ですが、特色のあるさまざまな奉仕活動を行っています。2015年5月にはウランバートルの日本人墓地に植樹を行ったほか、日本の書籍『家庭の医学』をモンゴル語に翻訳して、ゲル地区の小学校などに配布しました。今後も、障がいのために学校や幼稚園に通えない子どもたちへの支援活動に協力したり、学校向けに上映される日本の教育映画の字幕翻訳、子ども用絵本の配布などを計画しています。

日本人墓地への植樹活動

スリランカ米山学友会

2016年6月、コロンボ市内で開催された設立総会には、学友約30人のほか、創立に尽力した第2530 地区（福島県）や第2700 地区（福岡県・佐賀県・長崎県）のロータリアンも多数駆けつけ、在スリランカ日本大使や現地のガバナー夫妻、当会理事長も出席して、総勢100 人を超える盛会になりました。学友会設立記念事業として、第2530地区と協同で行う奉仕活動（小学校へのパソコンやテレビシステム提供）も計画されています。

コロンボで盛大に開かれた創立総会

番外編

ベトナム（ホーチミン）学友グループ

正式な学友会はまだ成立していませんが、ホーチミンでは、2014年から学友グループが奉仕活動を続けています。2016年3月には、松戸中央ＲＣ（第2790地区・千葉県）の会員とともにホーチミン市内の視覚障害者福祉施設を訪問し、寄付金や日用品を贈呈しました。また、6月には、身寄りのない高齢者を受け入れている寺院を訪問し、入所者1人ひとりに“お年玉”50.000VNDのほか、手袋・マスク・調味料を寄贈しました。

寺院に身を寄せる高齢者を慰問

世話クラブ・カウンセラー制度があればこそ

米山記念奨学金は、奨学生との交流を大切にしています。初めて「世話クラブ」を引き受けるロータリークラブは、どのような期待をもって奨学生を受け入れるのでしょうか。その様子がよくわかる一組のカウンセラー・奨学生からの寄稿文をご紹介します。
（本編は、「ロータリーの友」2016年4月号に掲載された記事の抜粋です。
全文は、http://www.rotary-yoneyama.or.jp/report/letter からご覧いただけます）

お世話を買って出てみたら……

湯沢ロータリークラブ
（第2540地区 秋田県）
カウンセラー
八田　順造さん

■クラブで初の米山奨学生

スーンちゃんは、湯沢ロータリークラブ（RC）が迎えた初めての米山奨学生です。秋田市から湯沢市までは電車で片道1時間半以上、本数も1時間に1本と少なく、これまでは、大学が集中する秋田市、または由利本荘市周辺のクラブが世話クラブを引き受けてくれていました。しかし、クラブが今年10月に創立60周年を迎えるにあたり、当クラブ会員で米山記念奨学会理事でもある伊藤壽々雄パストガバナーから、「われわれも世話クラブを経験しようじゃないか」との呼び掛けがあり、数年前から受け入れの雰囲気づくりを始め、2014年4月、待ちに待った米山奨学生を迎えました。

（後略）

■世話クラブだって懸け橋の一つ

スーンちゃんは例会に出席するため、月に1 回、大学を休まなければなりません。2年間よく頑張ってくれました。当初は乗り物酔いで、毎回青い顔で電車から降りてきました。けれどもいつしか、「お父さん、今日は雪で真っ白だったよ」「田んぼの緑がきれいだった」と、車窓から見える秋田の風景を目を輝かせて話してくれるようになりました。湯沢RCは男性ばかり60人のクラブなので、スーンちゃんが出席し、近況を報告してくれる例会は、会場に優しい顔が広がり、雰囲気が和やかになるのがわかります。スーンちゃんが風邪気味だとわかると、体調を気遣い、質問責めにするほどです。

湯沢RCの歴史は古く、世話クラブの経験はなくとも米山への寄付はしてきたつもりです。しかし、今回初めて世話クラブを引き受けたことで、日本のロータリアンならば、もっともっと米山に関心を持たなければならないと、そんな意見が飛び交うようになりました。

私たちはよく奨学生に「日本と母国との懸け橋になってほしい」と言いますが、世話クラブになったことで、私たち会員も奨学生とロータリー、ベトナムと日本との懸け橋の一つになれたのではないかな、と思います。長いようであっという間の2年間でした。これからも、スーンちゃんの夢を応援していきたいと思います。

往復5時間、最高の世話クラブ

米山学友（ベトナム）
ホアン ティー スーンさん

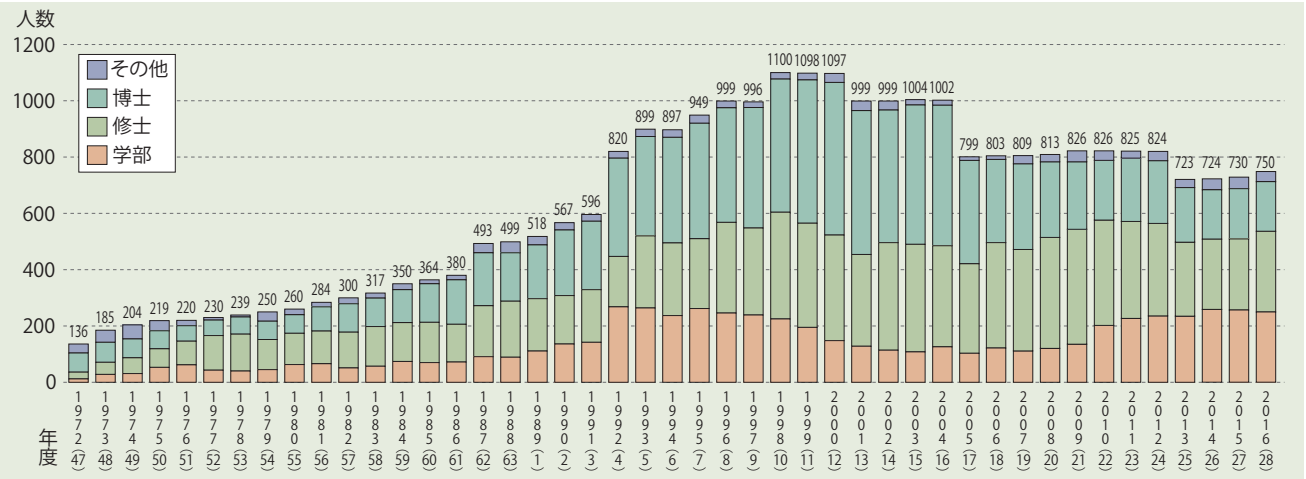
大学3年生の時に米山奨学生に選ばれました。湯沢RCの例会に出席するため、2年間、秋田市の自宅から往復5時間をかけて通いました。経営者や専門家の皆さんと話し、たくさんの知識を得ました。生まれて初めてのスキー、クラブの旅行にも参加させてもらい、曲木家具の工房見学など、普通の留学生では体験できない、たくさんの思い出をいただきました。

特に忘れられないのは、昨年の私の誕生日。その日はちょうど例会日で、皆さんが突然バースデイソングを歌い出して、私の誕生日を祝ってくれたのです。思ってもみなかった出来事に、胸がいっぱいになりました。こんなに温かい世話クラブは、他のどこにもないと思います。カウンセラーの八田さんは、私を家族のように受け入れてくれました。私が風邪を引いた時、八田さんのお嬢さんが看病に来てくれましたね。

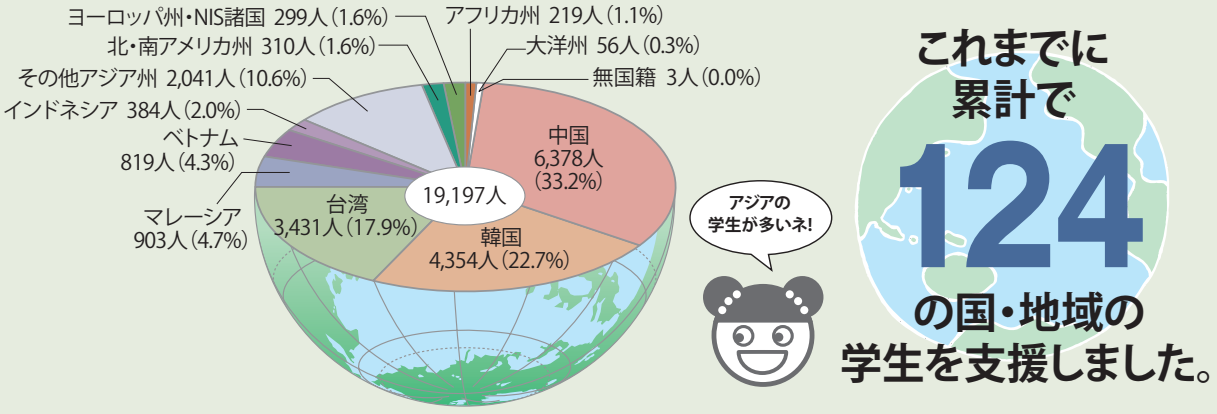
4月から私は秋田大学大学院に進学します。これからも頑張ります。見守っていてください。

5 データで見る米山学友

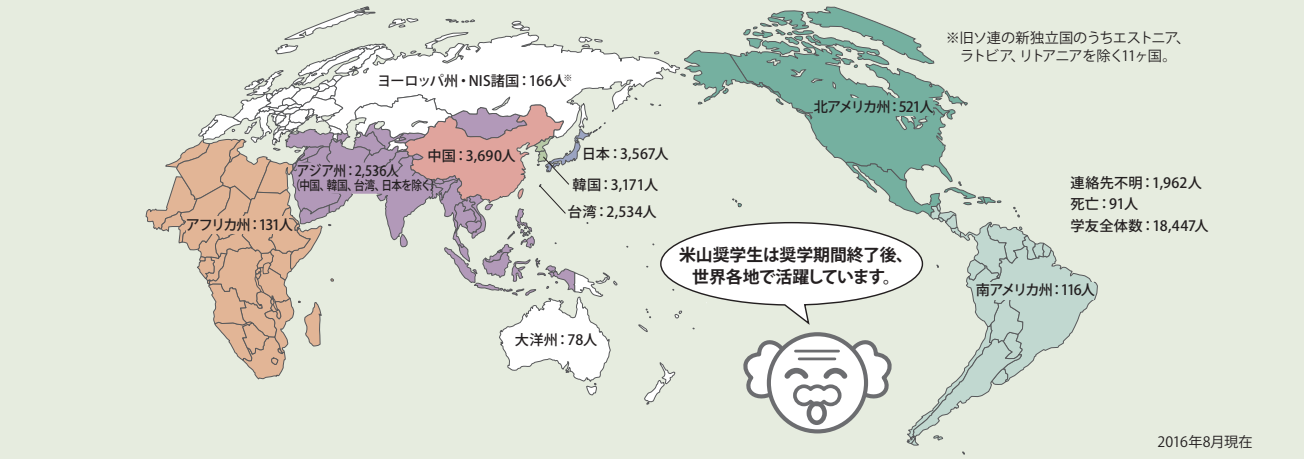
1.米山奨学生数の推移



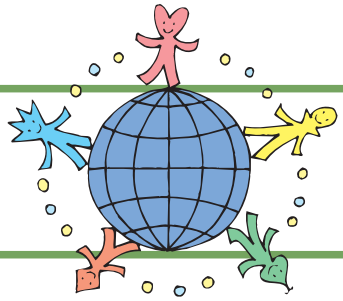
2.これまでに支援した奨学生の国・地域



3.世界で活躍する米山学友



学友なんでも資料館



Q1 出身校BEST10は？

1	**東京大学**	**903人**
2	筑波大学	666人
3	大阪大学	539人
4	東北大学	379人
5	信州大学	375人
6	名古屋大学	373人
7	神戸大学	357人
8	九州大学	347人
9	京都大学	338人
10	東京工業大学	327人

※複数回奨学金を受けた者で異なる学校に所属した者は、それぞれの学校でカウント

Q2 博士号取得者数は？（申請ベース）

A 3,568人（国外取得者や渡日前取得者を含む）

【博士号取得者の国・地域ランキング】

1	**韓国**	**1,299人**
2	中国	1,282人
3	台湾	621人
4	バングラデシュ	83人
5	ベトナム	32人

【博士号の種類】

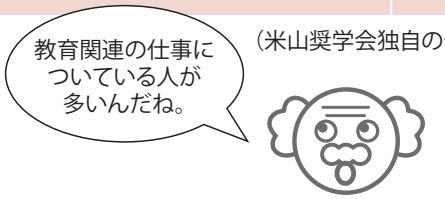
1	**工学**	**1,127件**
2	医歯薬等	776件
3	農学	488件
4	社会科学	438件
5	理学	336件

（米山奨学会独自の分類です）

Q3 学友の現在の職業は？

1	**教育**	**3,943人**
2	企業経営・勤務	3,171人
3	研究所	489人
4	医療	349人
5	自営	172人

（米山奨学会独自の分類です）



Q4 ロータリアンになった学友の国・地域

A 220人（米山奨学会把握分）

1	**台湾**	**77人**
2	韓国	64人
3	中国	44人
4	マレーシア／バングラデシュ	各5人
5	ネパール／スリランカ／ミャンマー	各4人

米山学友を中心に発足したロータリークラブ（RC）

- **台北東海RC（第3480地区）**
  加盟承認：1995年1月31日　※公用語は日本語
- **台中文心RC（第3460地区）**
  加盟承認：2007年3月16日　※公用語は中国語
- **東京米山友愛RC(第2750地区)**
  加盟承認：2010年3月16日
- **東京米山ロータリーEクラブ2750(第2750地区)**
  加盟承認：2012年6月21日 ※インターネット上で例会を行う
- **さいたま大空RC(第2770地区)**
  加盟承認：2013年11月25日
  ※財団学友と米山学友により創立

2017-18年度は
財団設立50周年

Facebookで最新ニュースを配信しています

～「いいね!」をクリックして応援してください～

Rotary

公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel:03-3434-8681 Fax:03-3578-8281
ホームページ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー米山記念奨学会の環境への取り組み

Waterless Printing Naturally

VEGETABLE OIL INK

Green Power

この印刷は環境に配慮した「水なし印刷」と「ベジタブルインキ」を採用しています。
また、工場の消費電力量の一部はCO_2を排出しないグリーン電力を使用しています。

RYS.15T.2017-03